

企業庁アセットマネジメント計画について  
 (水道用水供給事業、工業用水道事業)

1. 計画の概要

(1) 計画の内容

平成28年度(2016年度)～平成67年度(2055年度)までの40年間の施設の更新(整備)計画

(2) 計画の方針

◆耐震化

ライフラインである水道用水供給事業や企業活動を支える工業用水道事業の耐震化を進める。特に基幹施設である浄水場の耐震化を優先的に進める。

◆老朽化対策

適切な維持管理により長寿命化を図るとともに、計画的に更新を行う。

◆施設規模の適正化

水需要予測に基づき、管径や設備規模等の適正化(ダウンサイジング)を図る。

(3) 更新基準

◆管路

老朽度調査により地盤条件毎の腐食進行速度を算出し、更新基準年数を設定。重要度等を考慮し、布設後70年以内に計画的に更新。

分類	更新基準年数
良質土壌に布設された管路	50年～70年
腐食性土壌に布設された管路	40年～70年

◆設備

他の水道事業体や企業庁の実績等により、可能な限り更新期間の長期化を図り、費用の低減に努める。

(設定例)	更新基準年数
受変電設備等	28年
中央監視設備等	20年
浄水機械等	25～38年
ポンプ類(30kw以下)	25～38年

(4) 計画の見直し

企業庁経営計画の見直しに合わせ、本計画の見直しを行う。

## 2. 各事業の状況

### (1) 水道用水供給事業

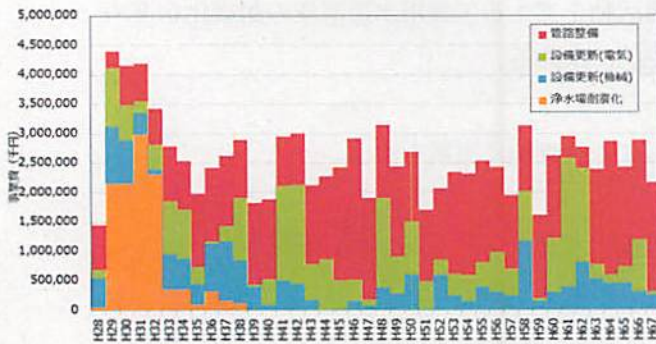
#### ◆概算事業費

- ①浄水場耐震化：約 110 億円
- ②管路更新：約 540 億円
- ③設備更新他：約 420 億円

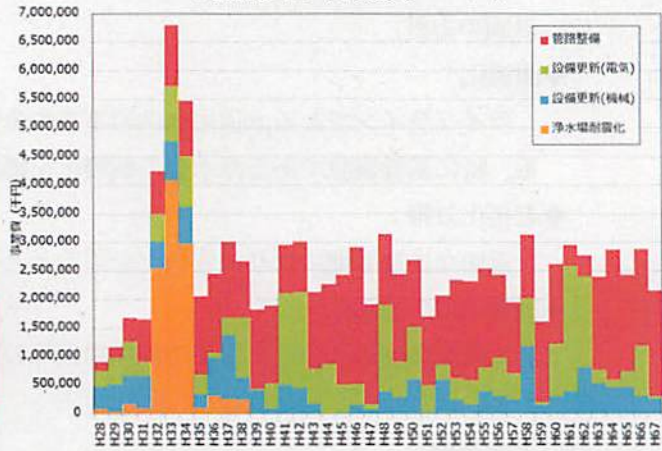
(参考) 浄水場耐震化のうち、吉川浄水場の概要  
 ・30,000m<sup>3</sup>/日の施設を新設  
 ・H29 測量・土質調査、H29～30 実施設計、H31～34 工事

合計：約 1,070 億円

当初計画（事業費ベース）



時点修正（事業費ベース）



#### ◆主な修正点

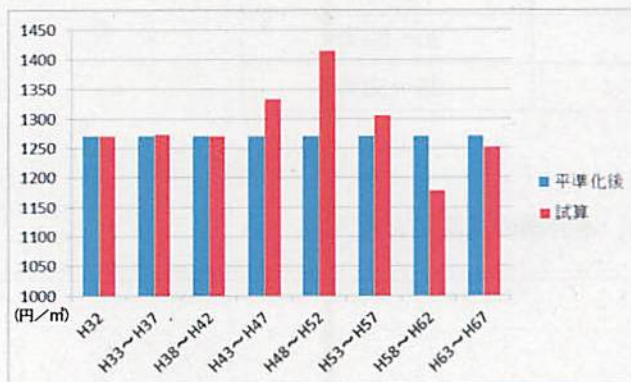
吉川浄水場耐震対策：当初（H28 設計、H29～H32 工事）→（H29～H30 設計、H31～H34 工事）  
 （理由）受水市町からの施設規模の見直しの要望を受け、再調整に時間を要したため。

#### ◆管路の耐震化率および延長

年度	H27	H30	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	
	(2015)	(2018)	(2020)	(2025)	(2030)	(2035)	(2040)	(2045)	(2050)	(2055)	
計画	耐震化率	34.2%	35.8%	40.0%	53.2%	64.6%	77.1%	81.0%	85.7%	90.4%	100.0%
	延長(m)	70,834	74,128	82,850	110,107	133,760	159,503	167,575	177,263	187,150	206,915

水道用水総延長 約 207km

#### ◆基本料率の試算





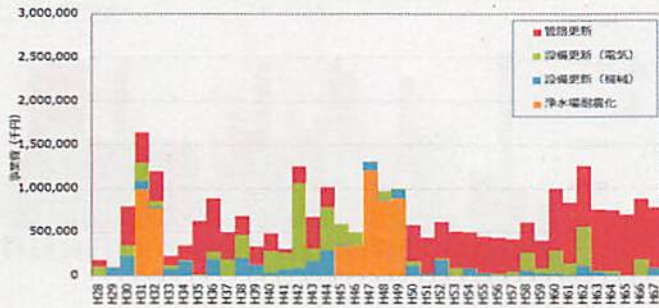
(2) 南部工業用水道事業

◆概算事業費

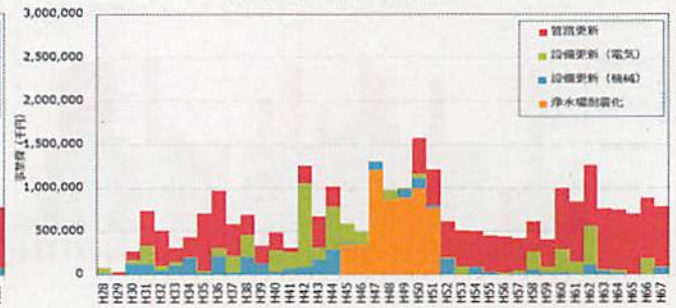
①耐震化：約 50 億円 ②管路更新：約 145 億円 ③設備更新：約 85 億円

合計：約 280 億円

当初計画（事業費ベース）



時点修正（事業費ベース）



◆主な修正点

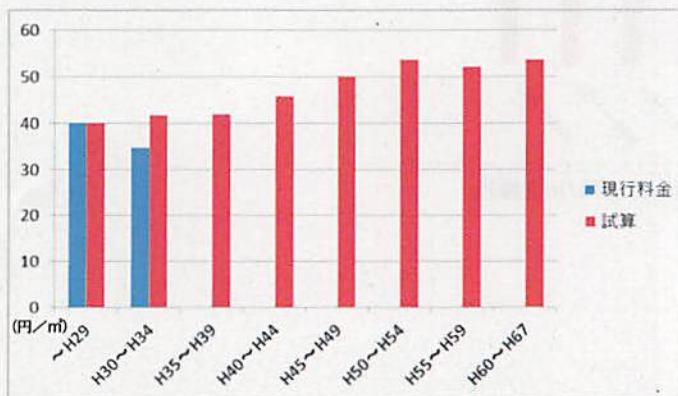
吉川浄水場耐震事業（送水ポンプ棟）：当初（H28 設計、H31～H33 工事）→H50～H51 工事  
 （理由）受水企業との協議の結果、施設更新時に耐震対策の実施を検討

◆管路の耐震化率および延長

計画	年度	H27	H30	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67
		(2015)	(2018)	(2020)	(2025)	(2030)	(2035)	(2040)	(2045)	(2050)	(2055)
計画	耐震化率	16.4%	18.0%	23.2%	45.1%	53.8%	59.0%	65.7%	77.7%	90.3%	98.8%
	延長(m)	13,806	15,203	19,567	38,081	45,403	49,797	55,448	65,551	76,254	83,403

南部工水総延長 約 84km

◆基本料率の試算



H30～H34 は、内部留保資金を活用し、40 円/㎡ → 34.7 円/㎡へ改定

(3) 彦根工業用水道事業

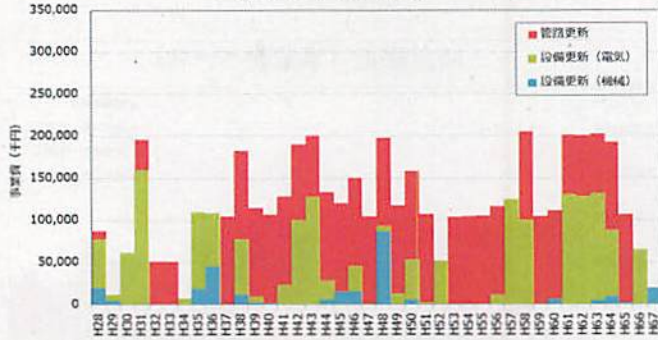
◆概算事業費

①管路更新：約 30 億円

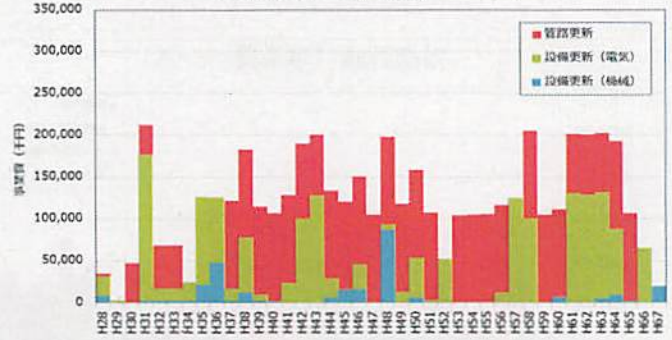
②設備更新：約 20 億円

合計：約 50 億円

当初計画（事業費ベース）



時点修正（事業費ベース）

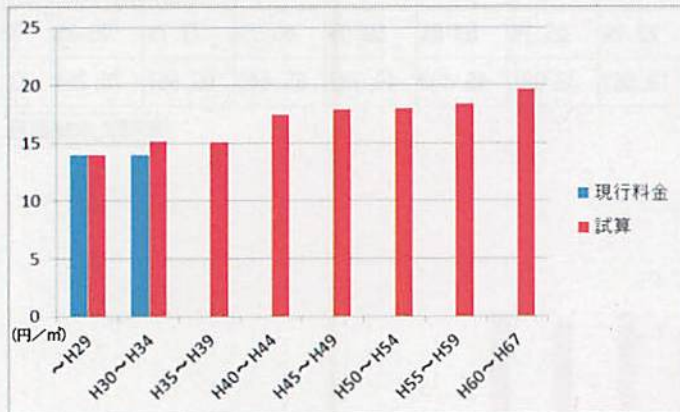


◆管路の耐震化率および延長

計画	年度	H27	H30	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67
		(2015)	(2018)	(2020)	(2025)	(2030)	(2035)	(2040)	(2045)	(2050)	(2055)
計画	耐震化率	3.2%	4.2%	6.3%	11.4%	29.7%	36.7%	41.5%	53.4%	69.6%	79.6%
	延長(m)	963	1,262	1,882	3,411	8,880	10,962	12,402	15,950	20,806	23,786

彦根工水総延長 約 30km

◆基本料率の試算



H30~H34 は、内部留保資金を活用し、14 円/m を維持